

令和4年1月19日

各位

九州ひぜん信用金庫

信金中央金庫「SCBふるさと応援団」を活用した武雄市への寄附決定について

九州ひぜん信用金庫（会長：溝上邦治 理事長：松永功 本店所在地：佐賀県武雄市）は、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が実施する地域創生推進スキーム「SCB ふるさと応援団」への武雄市申請を推薦・支援し、この度、寄附金1,000万円贈呈されることが決定しましたのでお知らせ致します。なお、寄付金の贈呈式は武雄市役所にて1月31日(月)に執り行います。

1. 「SCBふるさと応援団」の概要

信金中央金庫の創立70周年を記念して行われる地域創生推進事業であり、信金中央金庫が「企業版ふるさと納税」を活用した寄附を行うことにより、信用金庫の本店所在地の市町村と信用金庫が一体となって地域の課題解決および持続可能な社会の実現に資する地域創生事業を応援し、地域社会の発展に貢献することを目的とするものです。

2. 武雄市と取り組む地域創生事業

「武雄市新球場整備を契機とした人と人との交流が生まれ、心がつながるまちをつくる事業」

3. 事業内容

武雄市では、武雄市における人的交流の中心的役割を担う施設の1つである市民球場の新規整備事業を核として、人と人との交流および地域と地域の交流を促進するとともに、人々の生きがいづくりや健康づくりに繋げることで、地域に賑わいを創出すべく、地域関係者の協力を得ながら「分野間連携」「広域連携」「情報発信」を実施します。

九州ひぜん信用金庫では、令和元年8月及び令和3年8月の2回にわたる豪雨災害を受けた武雄市に対して、本事業を通じて更にリレーションを強化するとともに、地域創生に向けた取組みを一体となって支援し、新型コロナウイルス感染症等により多大な影響を受けている地域経済の回復を目指してまいります。

以上